

参議院議員選挙 間近に迫る
 渡すな・汚すな・この一票
 勝山市選挙管理委員会
 公明選挙推進協議会



勝山市広報
 (第30号)
 昭和31年5月30日発行
 福井県勝山市役所総務課

市財政の建てなおしに 財政再建法適用を申請

緊急市議会を決定

勝山市では約六千三百万円の赤字をなくしようとして苦慮していたが昨年、これらの赤字財政の地方公共団体を救う法律「地方財政再建促進特別措置法」が出来たのを好機としてこの法律の適用をしてほしいと自治庁に申請することになる、五月二十五日の市議会で酒場一致決定しました。

この赤字は概ね一町八ヶ村の合併の時引継いだもので、これが市財政のガンとなつておつたのであります。このような赤字が出た原因については自治体は云々までもない事ですが国家として、責任がありますので、この様な法律で全国市の約七割強その金額二百八十二億という赤字をなんとかしなくてはならないと政府自身も考えているのです。

それならばこの法律の適用を申請した勝山市は一体どうなるのか又市民の皆さんにはどんな影響があるであろうか、これが一番心配される点だと思われ、この点について説明致します。

これについては又市議全員協議会でもいろいろ論議されたことでもあります。

第一に政府の不当干渉をうけて自治活動が充分できないのではなからうか。これは従来通りの様にはいきませんが、しかし一方的に政府がこの法律によつて決定すると云う事はありません、つまり或程度の勸告を受けたり、一定の条件をつけるなどの事をする場合はありますが、議会政治を無視したり、前にも申し上げた通り、政府のほしきままにされたりは致しません。要するに国と市と両輪の如く一体となつて赤字解消に努めていこうと云う事です。

第二に市税や使用料等を上げて市民の負担が重くならないか、この法律の適用を受けたからと直ちに税金が上ると云う様な事はありません、しかし地方税法などの改正によつて増額される場合は別ですが、このために増額するようならば絶対にしてはならない方針であります。

第三に事業が圧縮されるのではないだろうか、これは従来よりある程度の引きしめはありますが、しかし市としてこれだけのことは必要であるという観点から認められる場合もあり、それ程心配はなかりません、むしろ、消費的経費を抑えて投資的経費を増やしていく方針をとりつつ赤字を償還して行くというのでなく却つてその逆になるのぢやないかと思われ、そのため人件費、物件費等とのしわ寄せは避けられないと考えられます。以上は大休市民の皆さんが懸念される点を申し上げましたが、更にこの法律の適用によつて、どの様な方法でどれ位の期間で建てお

しするかについては自治庁の承認をまつて、新しい財政再建計画と同時に詳しくお知らせ致します。

臨時市議会開かる

退職手当の臨時特例に関する条例及び

平泉寺校の一部改築に関する追加予算を決議

四月三十日招集の臨時市議会は午後一時五十二分より開会、山内市長上京のため光明助役代つて招集の挨拶を行いました。次いで議案第三十六号 勝山市職員の退職手当に関する条例の臨時特例に關する条例制定の件 議案第三十七号 昭和三十一年度勝山市一般会計課入歳出追加予算を一括上程 光明助役提案理由説明の後直ちに休憩 休憩中全員協議会を開催、先づ二案について事前審議を行い総務庁合同委員会並びに財政委員会の審議の結果を夫々坪内副市長、副委員長長谷川財政委員長より報告慎重審議の後、午後四時三十分本会議を開 阿案共に原案通り可決、 午後四時三十二分閉会した。尙追加予算額は六百五十三万三千円であります。

五月議会日誌

- 七日 新市育成強化特別委員会 於東京 議長出席
- 八日 行政機構改革特別委員会執行部問題討論 十五日 全員協議会
- 地方財政再建促進特別措置法の適用について協議
- 十六日 地財再建法の適用について委員五名 武生、鯖江市市調査研究視察
- 十九日 全員協議会地財再建法適用問題協議 同日 農林委員会
- 市有林の文木売却保留について 新農山村建設総合対策及び農山村部落振興対策事業に關する件
- 二十一日 全国新市議長会 於東京 議長出席
- 二十三日 全国市議会議長会定期總會 於東京 議長出席
- 二十五日 全員協議会
- 地財再建法の適用について協議
- 同日 臨時(急務)市議会(午後七時四十五分)
- 地財再建法適用申請決議
- 二十九日 文教委員協議会

開店6ヶ月

繁昌する公益質屋

利用者はなんと三百二十人を突破!!

市では昨年十二月、小金蔵で困つておられる皆さんに月三分という低い利率で少しでも援助しようとして公益質屋を開設しましたから早くも六ヶ月、この期間中から利用者は三二〇人を超えその利用率は全く他市を凌いでいます。

利用者をも別してみますと、小商人、俸給生活者、労働者がそれぞれ三割程度占め、後の一割が農業者となつております。

質屋は総店敷約四〇〇点で衣類が圧倒的でその七割を占め次いで時計、指輪、ラジオ債券等です。

貸出金額は百拾貳万三千元(五月二日現在)でその受出金額が拾拾四万一千八百円であります。

尚、公益質屋では利用者の皆さんへ御含みお願ひしたい事は、公益質屋だから、他の営業質屋より質屋を高く評価してくれるものと考へ違いをされておられる向もあるようですが、そう云う事は出来ないの御承知下さい。

たゞ月三分という低利率で僅かの金で困つておられる方の便宜を考へて市が公益質屋を開設したのであります。

金額は一世帯につき一万円までで、買流れ期間は原則として四ヶ月です。

納税組合をつくりましょう

こんな恩典があります!!

◇納税は国民の義務であると同時に市民の義務でもあります。昨年の納税成績は県下七市のうち第一位という好成績を収め得ましたことは市民の皆さんの納税に對しての御感謝と御協力の賜と感謝しております。そこで皆さん!!

◇納税組合を作りましょう。

と今市ではこの結成をお奨めしております。といふますのはこの納税組合を作りこの組合を単位として納税前に納税をして頂ければその納税の種類に於いた総額の百分の三(個人ですと百分の一)が、納税奨励金としてその場で差引きしてお渡りする事になつていきます。このような恩恵があります。

◇目下市内では一〇七の組合がもう既に結成されておりその数は余市の納税者の六〇パーセントを占めております、これらの納税組合では大体各部落又は各町内毎に作られており、これによつて得た奨励金を区費の大部分に充て又は百分の二を納税者にお返しするなど、大へん喜ばれております。

某組合の如きは一年の奨励金が約十一万円に及び、これを町内の繁榮のために使つていきます。このように納税する市民にも便利であると同じく市役所としても、予定通りの税収入がある事によつて市政の諸事業が円滑にはかどりその上、借入れに

よる利子支払いという不利益を免れ、徴税事務の複雑さをも避ける事が出来るので誠に結構な制度なので特にお奨め致したいのであります。

△これからの稲作り▽

イモチ病

発生のおそれ?

追肥は控え目に中耕で株張をよくしよう

(お天気は凶作型)

今年はずいぶん長いので葉イモチ病に特に注意して下さい

長期気象予報では六月初頃から本格的なツエ入り、そして雨量が多く気温、水温が低いので稲の伸びが芳ばしくないので、こんなときにかかりやすい葉イモチの予防に十分心がけて下さい。

イモチ病の発生する第一の原因は気象と肥料の関係です。即ち梅雨で日照りが少く低温が続きますと稲が軟弱になりますのでイモチ病にかかりやすくなります。

今まではイモチ病は人間の病気でたとえるならば癌のようになかなか厄介なもので、しかもどうしようもなかつたものでしたが、多年研究の結果新農薬によつて完全効果認められました。

その農薬には粉薬としてリオチンダ

自衛官募集 陸海空 約10,000名

昭和31年 第2次 昭度第2次

資格 中卒程度 満18才以上 25才未満

◆受付期間 5月10日から 6月15日

◆試験場所 7月6日から 7月20日の間

◆その他 第2次以後も引き続き願書は受付
ますから応募される方は市役所総務課又は各所へお出下さい

中耕は天気のよい日に潑水をやつて下さい。これをしますと株張りがよくなり、ひいては増収にも資します。なるべく雨の日はやらないように追肥はよく考へてやりましょう。

追肥の量は、天候のよしあし、作物がどうであるか、果して肥料切れになつていないかどうかをよくみて追肥量やその時期を加減して下さい。

葉色が淡いからも少し色を出そうとひとりよがり考へずにはつきりわからぬときはよく農務の技師に相談してやつて下さい。

そしてこの追肥をするときは、前もつて潑水にして控え目にして分けて施した後中耕除草をし、土とよく混ざるようにして、潑水がしみこむのを待つて普通に潑水して下さい。

【農家の皆さんへ】

サイロの型枠が出来ましたから精々御利用下さい

サイロ型枠の大きさ

直径 四、五尺

高さ 四、五尺

厚 四、五寸

型枠は一個しかありませんが無料で御希望の方にお貸し致しますから、農務課へ申込んで下さい。

農繁期を迎えて

市内十九ヶ所に(六一五名)

季節保育所を開設

猫の手でもかりたい農繁期をむかえ各農家では、一時的に非常に人手が不足となりまゝです。つい仕事に追われ大切な子供さんに充てずが届かないため、この

季節には幼児の火遊びによる火災の発生、又は川や溜池への転落死等悲しい事故が全般的に非常に多く発生しております。この結果、保護者の方々には安心して仕事をすることができないばかりでなく、私達国民に課せられている原産福祉の見地からも決して等閑視しておられないので、これが対策として季節保育所の設置が極めて必要になってくるのであります。

そこで市福祉事務所と致しましては早速保育所開設希望地区の代表者の方

々にお集り願ひまして、開設要領等につき打合せを開催致しました結果、現在既に十九ヶ所の季節保育所が開設され、ここで保育される乳幼児は実に六一五名の多数に上つております。

この季節保育所の開設により、更角放任され勝ちな乳幼児が安全に保育され、何等の事故もなく、心身共にすこやかに育てられることによつて、所謂児童福祉の目的を果せることができると共に、農繁期における農家の労働の合理化が図られるという非常に大きい且重要な役割を持つていたのであります。

未だ開設されない地区で開設希望の方、又は設置につき疑問等を持つておられる方は至急市福祉事務所迄御連絡下さい。

伝染病はこうして防ごう

若しかかつたらすぐ医者診断を

皆さん、間もなく梅雨期が近づいて参ります。雨季といへば伝染病の季節で、当勝山市に於ても既に患者二十六名うち一名死亡、昨年の同期(五月二十四日現在)に比し十八名の増加であります。

厚生省の調査に依りますと、本年は赤痢と日本脳炎の流行が予想されると云い、その対策を立てて居られますので、我々勝山市民は今から伝染病の予防に心がけたいと思ひます。予防注意と致しましては、伝染病についての常識とその予防常識をもつことが大切であります。

今から夏にかけて流行する主な伝染病について皆さんに知つて置いて貰いたい点を申しますと、先づ腸チフスについては、初め熱がだんだん上り四〇度位の熱が二週間連続し、右の下腹がゴロゴロ鳴り押えると痛みます。そして脈は熱の割合に速く、頭痛が激しくなり、うわごとを云うようになります。

三週目頃から熱はだん／＼下るが、

その頃固い物を食べると急に腹痛が起り死ぬことがあります。

次に赤痢は、初め軽度の発熱があり粘液や血液を含む下痢があり、腹痛を伴い、俗に云うシボリ腹になります。

小児の場合は絞刺となり、症状は急激に元気が無くなり、二、三時間のうちに高熱とキツケを起し、手おくれすれば一晩で死んでしまいます。尚健康そうに見えても赤痢菌をもつていて発病しないでいる所謂健康保菌者は、百人中六人と云う率を占めております。

次に日本脳炎は、急に高熱頭痛があり、意識が濁つてうわごとを云うようになりまゝです。又眠り続けることもありまゝです。肺炎は八、九月に最も多く、伝染源は病態保有者及び蚊の媒介によると云われます。

これらの夏季に発生する消化器系伝染病の伝染源は、悉くその健康保菌者であり、経口感染でありますので、先づ手洗いの励行、衣類、夜具等の日光消毒、食器の食食物の適度な考慮しかハエの撲滅その他すべての環境の清潔に留意することによつて衣、食、住の



季節保育所開設現況

町別	開設数	保育児数	備考
北谷町	二カ所	八〇人	(保育)
野向町	三	七〇	児数は
村岡町	二	七〇	申込数
運羽町	二	四〇	
北郷町	二	九五	
平泉寺町	一	六〇	
鹿谷町	四	一三〇	
旧勝山町	三	七〇	
計	一九	六一五	

適正を期し、一層勝山市民の健康を保ちたいと存じます。何卒各位の自発的な御協力をお願い致します。

尚、特にお願ひしたいことは、以上に述べたような症状があつた場合にはすぐに療養担当者へ診察を受け決してかくさず隣隣病舎へ入院する事が大切です。曾て昭和二十四年七月、患者陰蔽に端を発し、埼玉厚樫宮町を中心に赤痢が集団発生した事件がありました。が、こと伝染病に關しては社会に及ぼす影響が甚大でありますから、この点十分お含み下さいます。遺憾のないよう御注意願ひます。(衛生課)

【訂正】先号の国民健康保険の予算(歳出)の積立金六十九万六千六百円を五十二万六千六百円に予備費百五十八万三千二百円を百五十八万三千三百円に訂正します。

タバコは
ぜひ市内の店で!

六月中の農家必行事項

二 農業メモ

一、稲作 「上旬」

早期中耕除草の実施
 稲の出来を早めるために第一回目の中耕を早期に行う様にす。田植後十日内外で実施する。第二回以後十日間隔位で実施する。
湛田に常半肥多施用田早生の栽培
 地帯に於ては特に早期に勵行する尙裏作跡の貯積田には重点的に早期実施する。

稲葉潜蠅の防除

入穂が早まるために低温が持続するので葉潜蠅の発生が稍々多発するから六月上旬にB.H.I.一%粉劑を反当三疋一〜二回撒布する。早植地帯並山間冷水地帯、深水地帯に於ては是非とも防除する。

晩植苗代の苗イモチ防除 「中旬」

実作の成熟がおくれているので当然跡田川苗代日数も長くなり六月中旬以降に田派する苗代は一〜二回運劑を撒布する(水銀粉劑又は銅水銀水和劑)水一斗に付十匁〜十五匁溶解し坪当五合型撒布する。

晩植田の田植

晩植田の田植半湛地帯では裏作物收穫後代播を速に行い二〜三日後に田植をする。乾田では速に行う。糞肥三〇〇〜四〇〇百石灰十五〜二〇百施用する。速効性窒素肥料は普通湛田の二〜三割減とし病虫害の被害を予防する。

螟虫の一化期防除

本年は特に多発の傾向はないが蝶の最盛期は不作並(六月七日〜八日)であるから早生は六月十五〜二十日中晩稲は二十日〜月末に運劑を撒布する(B.H.I.粉劑ホリドールを反当三・五冠(四冠))

泥負虫の防除

泥負虫の発生は降雨の關係で平年並の発生はまぬがれない。従つて發生地帯にては現在成虫が發生し産卵しつゝある早期発見と同時にB.H.I.粉劑を反当三疋撒布し防除に努める。

平坦湛田地帯の灌水法

平坦湛田地帯の灌水法は種付後の天候が悪いので湛田地帯に於ては常時灌水を維持し排水し地温の上昇と酸素の供給を促す事が肝要である。

極早生の止肥 「下旬」

早植に伴い幼穂形成期は昨年より三〜四日早く月末には大休入る見込である。普通種肥は慌安返当二苜炭度施用するのが常であつたけれども今年には

来るだけ窒素質肥料の止肥は差ひかえる事が大切である但元肥施用量或は土地によつても異なるから此の点注意する(何れ作見会を行ひ指導する)
珪酸石灰の追肥
 元肥に施用出来なかつた場合又は元肥の施用量が少かつた場合は有効分乗期後の追肥に反当四十百施用する。分施の場合は三十百。

中晩稲の追肥

田植が一般に早くなつているので第一回の追肥の時期並故を検討して実施する現在のところ六月中の窒素肥料の追肥はさけ石灰又は木灰を以て追肥とする方法が安全である(反当三十〜五十匁)
葉イモチの予防
 早期肥培管理に努め發生誘因の防止を計ると共に葉イモチの早期発見に依る早期葉劑撒布を勵行する。

二、秋多作

裏作物の適期收穫 「上中旬」
 粟種は下から出た太い分校の穂先三分の二位の所の莢が殆んど黒色になつた頃が刈取の適期である。粟莢の黄変に左右されず、特に黒種(朝鮮茶種)の場合には四〜五日早く收穫する。大麦は穂(頭)が八割迄黄変、小麦では粒の八割迄褐色に変化した粒の殆んどが乳汁の出ない程度に固まる頃が好期である。よつて粟莢の黄変にこだわらず粒の固さを指標とする。

三、園芸

馬鈴薯トマトの疫病 「上旬」
 梅雨期間が長いため疫病は相当に發生する可能性がある。馬鈴薯は二回、トマトは数回の薬剤を撒布する。適用薬剤は次の通り。
 銅製劑 水一斗に対し十五匁
 銅水銀水和劑 水一斗に対し十匁〜三匁
 ダイセン 水一斗に対し八〜十匁
 何れも反当六斗〜八斗撒布する。

甘藷の早期植付

湛の穂付適期は地温が孫氏の十八〜二十度前後になつた頃が良いと云われている。大体この時期は五月十八日〜二十日頃であるので五月中旬に植付が出来なかつたものはなるべく早く行ひ稍密植する。尙黒斑病予防のために切り苗の消毒を忘れてはならない(温湯消毒又はウスブルン消毒を実施する)

貯蔵用玉葱の薬剤撒布

葉葉の二〜三割が自然倒伏した時期にM.H.三十の〇・二〜二・二五%(一八〇倍〜一四四倍、水一斗に五・五〜

六・九匁入れたもの)を反当六斗噴霧器にて撒布する。早生種の玉葱には比較的効果が少いと云われてはいるが相當の効果があつる。

貯蔵用玉葱の收穫と貯蔵

葉葉の七〜八割倒伏したもの晴天の日を選ぶ。尙收穫二〜三日前セレンサン石灰の撒布葉葉をつけたまま貯蔵低温乾燥通風の所。

胡瓜の露菌病黒星病の防除

馬鈴薯トマトの疫病に準じて銅製劑銅水銀劑、ダイセン等の薬剤を撒布し予防並防除に努める。

柿のへた虫防除

落葉病の防除をかね、砒酸鉛加用の一石式ボルドー液を撒布する。尙裏害防止のために砒酸鉛を加用すれば最もよい。

四、畜産

牛馬の手入

五月の牛馬の手入れが疎となりがちであるから特に役畜に於ては四肢の湯又は水洗を是非行ひ、尙乾洗機等を使用し四肢は勿論体全体をさすつてやるのが明日の作業効率が高まる事になる

飼料の与え方

餌は消化し易いように煮て与えるようにすると消化が良くなり下痢を起すことがない。農繁期間中の濃厚飼料は一日麦二升五合、大豆五合位は与えてやりたいものである。

数葉を豊富

少量でもよいが殺菌は毎日入れてやる事が大切である。蓋は面倒ではあるけれども家畜保健と価値ある厩肥の生産につとめたい。

飼料の酸酵

此の月は飼料が酸酵し易いから出来るだけ乾燥する箇所貯蔵し酸酵を防止する。尙酸酵したる飼料は絶体と与えてはならない。

蚊蠅の防止

特に伝染病を媒介するので昆虫の発生し易い汚水溜や水溜をDDT又はB.H.I.等の粉劑乳劑で駆除する事を忘れてはならない。

五、農機具

動力耕耘機の保管 「中下旬」

- (1) エンヂンは吸排気弁の閉じたピストンの一番中に入つた位置におく
- (2) ボルトナット等の粉失又は破損したところは直ちに修理しておく
- (3) エンヂンの水や油は完全に抜いておく
- (4) 湿気の少ないところにゴムタイヤの場合は下を合せて保管する。

(勝山地区農業改良普及事務所)